

卒業必修	保育士必修	幼稚園教諭必修	選択
授業科目名： 異文化理解 ナンバリング：1021	保育士資格取得のための 選択科目	単位数：1単位 （半期）演習	担当教員名： 鈴木一代、藤田利久 担当形態：複数
系 列	教養科目		
教科目	外国語、体育以外の科目		
授業の到達目標及びテーマ 1. 異文化理解の重要性を認識できる。 2. 自文化と異文化の共通点と相違点を理解できる。 3. 自文化の発信のための知識と技術が習得できる。 4. 他文化の受容への積極的取り組みができる。			
授業の概要 この授業では、アジア（主にインドネシア・バリ）の文化を事例としてとりあげ、日本の文化と比較検討することにより、異文化理解への基礎知識や態度を学ぶ。また、異なる文化の理解を通して、自文化や自分自身をいっそう深く理解する。その一環として、インドネシア語会話の基礎を学び、インドネシア人学生とのオンライン交流（日本語可）をおこなう（予定）。 なお、希望者は、連携協定を締結しているインドネシア・バリ州のマハサラスワティ大学と国立ガネシヤ教育大学や幼児教育機関等への訪問と交流を目的とする海外研修に優先的に参加することができる。 ※コロナの状況により、海外研修が困難な場合は、オンラインによる海外研修をおこなう。			
授業計画 第1回：オリエンテーション 第2回：文化とは：異文化とはなにか、自文化とはなにか 第3回：グローバル化社会のさまざまな人々と問題点 第4回：異文化接触とカルチュア・ショック 第5回：異文化間コミュニケーション 第6回：文化とひとのころ1：自己と文化、集団主義と個人主義 第7回：文化とひとのころ2：偏見、ステレオタイプ、差別 第8回：文化的アイデンティティ（国際結婚の子どもを例に） 第9回：インドネシア学生とのオンライン交流—バリの概要（予定） 第10回：インドネシア学生とのオンライン交流—文化（予定） 第11回：インドネシア学生とのオンライン交流—生活（予定） 第12回：バリ文化の理解：グループワーク（発表準備） 第13回：バリ文化の理解：グループワーク（発表） 第14回：日本人とインドネシア人の共通点と相違点 第15回：まとめ 定期試験：発表、レポート		授業時間外の学習 （毎回 60～90 分） 日常生活のなかで、テレビや新聞記事・Webサイトなどを通して、異なる文化的背景をもつ人々や子どもたちへの理解を深める。授業内容の理解やオンライン交流での意見交換に必要である。 Webサイトや書籍などで各自が興味をもつ国の文化、歴史、教育、言語などについて積極的に調べる。それを基に発言することで、グループワークが成立する。 海外研修では、自文化の誇りと他文化への尊敬の気持ちを持って接することが重要である。交流のために、日本の伝統文化（茶道や舞踊など）の練習をする。	
授業の方法 講義、オンライン交流、グループワークで行い、可能ならば海外研修旅行を実施する。各回簡単なフィードバックを行う。			
テキスト 必要に応じて資料を配布する。			
参考書・参考資料等 オリエンテーションの際、授業中に適宜紹介する。			
学生に対する評価 授業参加態度（50%）、発表（20%）、レポート（30%）を総合的に判断して評価する。			
履修上の注意 海外研修旅行への参加には、保護者の理解と研修費用が必要となる。詳細については、オリエンテーションあるいは授業中に説明する。なお、海外研修旅行については保護者説明会を実施する。			
実務経験の有無	無	実務経験	
実務経験を活かした教育内容			